



<https://www.jaaso.or.jp/>

# JAあそだより

令和8年2月



JA阿蘇いちご部会長の園田賢臣さん(右)、園田琢真さん(左)、技能実習生の皆さん(中)

## ■今号16ページ 主な内容

- 令和8年祈願祭および仕事始め式
- 中九州横断道路シンポジウム
- 生産各部会の総会・反省会・出荷などの動き
- 「第3回あそっ娘☆短期大学」開講
- 第23回JA女性部フォーラム～家の光大会～
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント! etc.

今号も話題と情報を満載!!

Instagram



ホームページ



2026  
立春  
VOL. 145

●/△ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088





農業者とJAが共に  
強いJA阿蘇づくりに取り組もう  
＝ 令和8年仕事始め式 ＝



JA阿蘇は1月6日、本所で令和8年祈願祭と仕事始め式を行いました。式には、本所役職員など約100名が出席しました。

まず、地元の阿蘇神社神主により諸災消除や事業繁栄を祈願する神事が執り行われました。

続いて行われた仕事始め式では、原山寅雄組合長が「農業者とJAが共に持続可能な経営基盤の確立を図るため、役職員一丸となって、強いJA阿蘇づくりに取り組んでいきましょう」と力強く新年への決意を述べました。式を終えた役職員らは、気持ちを新たに業務に取り掛かっていました。（写真＝祈願する原山組合長と仕事始め式の様子）



JA阿蘇青壮年部盟友ら  
本所・小国郷中央支所・  
阿蘇南中央支所に門松を設置



JA阿蘇青壮年部は12月22日、JA阿蘇本所・小国郷中央支所・阿蘇南中央支所に盟友らが作成した門松を設置しました。

門松の設置は、2016年（平成28年）発生した熊本地震によって被災し

仮設団地で正月を迎えることとなった地域住民に対し、「少しでも正月気分を味わっていただこう」と始まったのがきっかけで、現在はJAの施設のみに設置されています。

門松作成の準備は前日から行われ、地元盟友の竹山から竹を切り出し、設置当日は早朝より盟友が集まり各支所ごとに完成させました。

部長の高本祐史さんは「門松の作成・設置は青壮年部の年末の恒例行事になっている。JAの組合員の方々にも青壮年部活動を知ってもらいたい機会なので、今後とも活動を続けていき皆さん方に素晴らしい新年を迎えていただきたいと願っています」と、抱負を語っていました。（写真＝青壮年部盟友らによって作成され設置された門松）





## ＝中九州横断道路広域シンポジウム＝ 原山組合長「農業分野での 道路開通がもたらす効果」述べる



ば、災害時における青果物の出荷や輸送面で農業発展に役立つ。また、阿蘇中部地区では米生産における地下水の汲み上げで1俵当たり約750円がかかっている。地域農業を支えるためにも、米の単価を安定させ、継続して営農できる体制の構築が重要だ」と、農業分野での道路開通がもたらす効果や地域農業が抱える問題について述べました。

(写真上)シンポジウムでの  
パネルディスカッション

### 未来塾修了レポート

#### 友岡康博職員が研修成果を発表

同シンポジウムは、中九州横断道路の事業促進と早期完成を図るため、大分県と熊本県、中九州・地域高規格道路促進期成会が共催し、開催されました。

真ん中九州シンポジウム 中九州横断道路と大分・熊本のこれからというテーマで、観光・農業・半導体・経済の4分野のパネリストがディスカッションを行いました。

原山組合長は「この道路が開通すれば、災害時における青果物の出荷や輸送面で農業発展に役立つ。また、阿蘇中部地区では米生産における地下水の汲み上げで1俵当たり約750円がかかっている。地域農業を支えるためにも、米の単価を安定させ、継続して営農できる体制の構築が重要だ」と、農業分野での道路開通がもたらす効果や地域農業が抱える問題について述べました。

J A熊本中央会が主催する「令和7年度未来塾修了レポート発表会」が1月16日、J A熊本教育センターで開催されました。この研修会は、今後のJ A運営を担う中核となる人材を継続的に育成することを目的に行われており、各J A・連合会から推薦された研修生10人が様々な考え方やノウハウを身に付けるため、昨年5月から10回にわた

### 「組合員に寄り添った 共済提案力の更なる向上を」 共済部がL A総合会議を開く

J A阿蘇共済部は1月14日、一の宮中央支所でL A（ライフアドバイザ）総合会議を開き、役職員・L A担当職員ら約30名が参加しました。

同研修会は、組合員に寄り添った共済提案力の向上と、万一の際に信頼される対応力の強化を目的に毎年実施しています。

今回はクリアビジョン(株)の上野良平代表取締役を講師に迎え、近年の自然災害や環境の変化を踏まえた保障内容点検の重要性や、L Aに求められる役割や心構え、組合員のニーズを的確に把握するためのヒアリング手法について研修を受けてきました。

J A阿蘇からは、南部営農センター畜産課の友岡康博職員が参加しており、多くの役職員の前で研修の成果を発表しました。



研修成果を発表する友岡職員

て学びました。

参加者は、実践的な講演内容を日々の訪問活動に活かしていくとメモを取りながら、熱心に耳を傾けていました。共済部では今後も研修会等を重ね、地域に信頼される共済事業の推進に努めていく方針です。



講演をする上野良平代表取締役



## 生産各部会の総会・反省会・出荷などの動き①

アスパラ部会「出荷反省会・総会」  
令和7年度販売額8億1624万円  
新部会長に池部さん 各表彰も行う



JA阿蘇アスパラ部会は12月9日、阿蘇市で第28回出荷反省会・総会を開き、行政・取引市場関係者・JA役員ら約110名が出席しました。

総会では令和8年度事業計画や新規加入者などの9議案を承認しました。令和7年度実績は、出荷量683t（前年比89%）、販売金額8億1624万円（同90%）と春先の低温の影響を受けた結果となりました。

令和8年度は変化する気候に合わせた栽培管理や防除暦に基づいた適期防除の徹底、反収前年比10%アップや消費地との情報交換強化を掲げ、生産者一丸となって更なる出荷量・品質向上に取り組む方針です。

担当指導員は次年度へ向け「農業散布ローテーションの見直しや栽培管理講習会を実施し、消費者の求める美味しいアスパラガスの生産に努める」と決意を述べました。

また役員改選と表彰式も行われました。新役員、表彰者は次の方々（敬称略）です。

## ◇新役員

▽部会長Ⅱ池部奨

▽副部会長Ⅱ市来祐介・中村泰裕

▽会計Ⅱ田端伸吉

▽監事Ⅱ松岡陽介・浅久野良明

## ◇JA表彰の部

▽総販売金額Ⅱ後藤浩昭

## ◇部会表彰の部

▽総販売金額Ⅱ西村豊治・笹原

順子・室豊

▽栽培技術部門Ⅱ小永康平・佐藤

春生・中村泰裕

（写真上Ⅱアスパラ部会出荷

反省会・総会の様子）



いちご部会 中部・南部両地区で  
現地検討会と目慣らし会を実施  
12月中旬順調な出荷ピーク迎える



JA阿蘇いちご部会は12月上旬、中部地区と南部地区で一層の品質向上を図るため、現地検討会と目慣らし会を開き、部会員やJA指導員が参加しました。

いちご部会は今季「恋みのり」76%、「ゆうべに」23%、「さがほのか」1%という品種構成で栽培をしています。出荷は昨年10月下旬から始まり、12月中旬に出荷ピークを迎え、現在（12月上旬取材時）順調な出荷状況となっています。

現地検討会では、JA指導員より「この時期に注意すべき病害虫の防除ポイント」について具体的な説明が行われました。また、県普及所からは現在の草高や葉色を適切に管理するための基準や電照（電気による日照時間延長）の実施ポイントなどが説明されました。

目慣らし会では、部会員が持ち寄ったイチゴをもとに、出荷規格や着色基準を再確認。市場からの信頼を維持するため、品質や選別基準の統一を図りました。

いちご部会では、技術指導と病害虫対策の徹底により、今後も目標とする高品質なイチゴを安定して市場に供給していく方針です。（写真上Ⅱ中部・南部地区で行われた現地検討会と目慣らし会の様子）



生産各部会の総会・反省会・出荷などの動き②

12月中旬イチゴ出荷ピーク  
販売金額8億円を目指す



JA阿蘇いちご部会は12月中旬、2025年産イチゴの出荷ピークを迎えました。同部会では36戸が約11haで甘みと酸味のバランスが良い「恋みのり」「ゆうべに」「さがほのか」の3品種を栽培。九州や関東・関西の市場を中心に出荷し、販売金額8億円、出荷量210万パック、10a当たり収量5tを目指しています。

12月の取材時、園田賢臣部会長は「徹底した栽培管理で、甘くておいしい阿蘇産イチゴを消費者に届けたい」と

と抱負を述べ、江藤秀晃指導員は「イチゴ需要が高い年内の収量確保に向け、生育ステージごとの栽培指導を徹底する」と、厳寒期を迎えるにあたり引き続き徹底した栽培指導を強化していくと話していました。

同部会は、様々な消費者ニーズに応えられるように大粒規格の贈答品や業務用など複数のアイテムにも対応しており、また初年度から手応えを感じている台湾向けの輸出事業にも引き続き注力する方針です。（写真上＝販促ツールと同パッケージ、イチゴ選果の様子）

中部トマト部会  
販売高19億7000万円  
熟練功労者の表彰式も行う



JA阿蘇中部トマト部会は12月23日、阿蘇市で令和7年度総会・反省会を開催し、県振興局や市場関係者、部会員ら合わせて約200名が出席しました。総会では令和7年産の実績報告と次期に向けた方針を確認しました。

7年産は、生産者143名が面積39・45haで栽培。販売金額19億7000万円（前年比107%）、出荷数量121万ケース（同104%）となり、金額・数量ともに前年を上回る好成績を収めました。担当指導員は「例年より早い梅雨明けが夏場の樹勢維持に好影響を与え、収穫量が安定したことで実績に繋がった」と分析。一方で、次期に向けた課題として「薬剤抵抗性を考慮した効率的な防除」をあげ、品質維持のための重要課題として部会全体で共有することにしました。

また総会では、部会員の意欲向上を目的に例年行われている表彰式も行われ、総販売高部門1名、販売高部門2名、栽培技術部門10名が表彰されました。さらに今年は新たな試みとして、70歳以上の部会員を対象とした反収額上位3名への表彰も行われました。

斉藤孝幸部会長は、長年にわたり部会を支えてきたベテラン生産者への敬意を込め「今日の部会の隆盛があるのは、部会を長年牽引し、確かな礎を築いてこられた熟練の功労者の皆様がい

たからこそであります。その技術と情熱に深く感謝し、これからも部会一丸となって高品質なトマトづくりに繋いでいきたい」と決意と感謝の言葉を述べました。

出席した部会員らは、互いの健闘を称え合うとともに、次期作でのさらなる飛躍を誓い合っていました。

表彰者（敬称略）は次の方々です。

◇JA表彰の部

▽総販売高部門Ⅱ 斉藤孝幸

◇部会表彰の部

▽販売高部門Ⅱ 松永拓巳・下村委也

▽栽培技術部門Ⅱ 緑幸博・緑智博・

岩下幸史・甲斐佳祐・阿蘇農業男

児合同会社・齊藤悠・岩下恵輔・

甲斐達矢・斉藤本・山本聡

（写真上＝70歳以上表彰の様子、右から高野

昭一さん・小代輝義さん・菅義徳さん）

西原甘諸部会「出荷協議会」開く  
出荷ピークを前に出荷規格確認



## 生産各部会の総会・反省会・出荷などの動き③

※前ページより続く

J A阿蘇西原甘諸部会は12月2日、本格的な出荷ピークを前に令和7年度貯蔵甘諸出荷協議会を開きました。

協議会には行政・取引市場関係者・J A役職員など約80名が参加し、集荷体制や出荷規格を確認しました。

同甘諸部会では、59名が80haで甘さが濃厚でしつとりとした「シルクスイート」を作付けし、県内や関西・東海地方へ出荷。今季、販売数量1770t、販売金額5億5000万円を計画

**販売高1億5200万円と躍進  
逆境を乗り越え次代へ繋ぐ  
中部ミニトマト部会**

J A阿蘇中部ミニトマト部会は12月26日、阿蘇市で令和7年度総会・反省



挨拶をする白石部会長

しています。作柄は昨年7月から9月の高温による影響が心配されましたが、適度な降雨もあったことで、玉肥大も良く例年並みの作況となっています。

担当指導員は「食味・形状・外観の評価が良く高単価で推移している。市場ニーズに合った集荷体制を構築し、安定的な販売に繋がってほしい」と現況を語り、出荷ピークを2月頃と計画しています。（前ページ写真＝貯蔵甘諸出荷協議会の様子）

会を開催しました。

白石部会長は冒頭の挨拶で、気候変動や生産資材の高騰といった厳しい情勢に触れ「皆様の多大なるご尽力により、部会全体として良質なミニトマトの安定供給という使命を果たすことができた」と感謝の言葉を述べ、次年度に向け、新計画に基づく栽培技術の向上や次世代への技術継承、販売力強化に重点的に取り組む方針を示しました。さらに「部会員と関係機関が一体感を高め、この逆境を乗り越える確かな一歩を踏み出したい」と決意を力強く結びました。令和7年産は、部会員23名が5・31haで栽培。販売金額1億5200万円（前年比121%）、出荷数量6万1099ケース（同107%）となり、前年を大幅に上回る好成績を収めました。

**「選ばれる産地づくりを！」  
販売金額4億4939万円  
南部トマト部会総会・出荷反省会**

J A阿蘇南部トマト部会は12月18日、行政・J A役職員ら約60名が参加し第21回総会を阿蘇市で開催。令和8年度事業計画案などを承認しました。



挨拶をする高岡部会長

また総会では優秀な成績を収めた部会員の表彰も行われました。

表彰者は次の方々（敬称略）です。

◇J A表彰の部

▽販売高部門＝市原恭市

◇部会表彰の部

▽栽培技術部門＝市原恭市・小野  
秀晃・志賀健一郎

現在、同部会では52人が約12haで作付けし、令和7年度の実績は販売数量1069t（前年比99%）、販売金額4億4939万円（前年比98%）で、県内や九州・中部地方を中心に出荷しました。

高岡幸一郎部会長は式辞で「生産者の高齢化や後継者不足により産地面積の減少といった深刻な課題もあり、夏場の高温で毎年作りにくい環境にはなっているが、生産者一人一人の努力の結果、前年並みの実績を上げることができた。これからも夏秋産地として安定出荷を目指し、気象災害に対しての備えを徹底していく」と決意を述べました。当日は優績者（敬称略）の表彰も行われました。

◇総販売高の部＝河内聡史・奈須喜一・松岡祐輝

◇10a販売高の部＝松岡祐輝・今村浩司・津留粹子

◇新人の部＝伊藤仁史

**販売金額前年比125%  
白水ミニトマト部会  
販売金額1億8199万円**

J A阿蘇白水ミニトマト部会は12月23日、南阿蘇村で第35回総会を開き行政・J A役職員ら約40名が参加し、令和8年度事業計画案などを承認しま

※次ページに続く



生産各部会の総会・反省会・出荷などの動き④



挨拶をする下田部会長

※前ページより続く

した。同部会では19名が約4haに作付け。県内や九州・中部地方に出荷し、販売数量192t（前年比115%）、販売金額1億8199万円（前年比125%）となりました。

下田剣太郎部会長は「今年から品質維持のために着色基準を変更し、各生産者の協力により市場評価を高めることができた。また、市場担当者の販売努力のお陰で目標金額を大きく超えることができた」と成果を報告しました。

令和8年産も引き続き品質向上と安定供給に向けた生産活動、検査体制の充実や市場と連携した効果的な販売促進活動を実施し、産地づくりに取り組む方針です。当日は優績者（敬称略）の表彰も行われました。

◇10a 販売高の部 後藤光栄・福田義廣・後藤真人

2025年度「第3回あそっ娘☆短期大学」

防災バッククッキング講習とカロリーング大会

JA阿蘇は12月10日、25年度「第3回あそっ娘☆短期大学」で、防災バッククッキング講習とカロリーング大会を行いました。

昨今の地震や災害で防災意識の重要性が高まる中、防災バッククッキング講習では、耐熱性ポリ袋を使い、限られた水や熱源でも調理できる方法を学びました。参加したあそっ娘からは「非常時を想定して実際に体験することの重要性を感じた」との声が聞かれました。

講習後はカロリーング大会を行い、チーム対抗で競技を楽しみながら交流を深めました。堀川美紀職員は「あそっ娘☆たちが仲睦まじく体を動かしている姿が見られた。今後も健康増進に繋がる活動を行っていきたい」と話していました。



→「うまく出来たようね♡」  
防災バッククッキング講習の様子  
←脚腰をさらに丈夫に：  
カロリーング大会



わきあいあい  
元気はつらつ  
あそっ娘☆の皆さん



# 女性の輪を大切に、多彩なプログラムで盛り上がる！ 「JA阿蘇女性部フォーラム～家の光大会～」



JA阿蘇女性部は11月20日、阿蘇市で「第23回JA阿蘇女性部フォーラム～家の光大会～」を開催しました。同イベントには、女性部員やJA役職員など約85名が参加しました。

オープニングセレモニーでは「ヴァンチャケット」によるバンド演奏が行われ、会場は大きな盛り上がりとなりました。開会式で原山寅雄組合長は「女性部担当者と共に活発なる取り組みを期待する」と祝辞を述べました。

フォーラムでは、10月に開催された料理コンテストの表彰やちゃぐりん感想文の表彰と発表が行われ、表彰者に

盛大な拍手が送られました。

家の光記事活用優良支部表彰では、家の光の記事を活用して毎月の役員会で手芸やハンドメイド、お菓子作りなどに熱心に取り組んできた高森支部が選ばれました。

午後からは、農協共済別府リハビリテーションの理学療法士・伊藤かおり氏を講師に招き、フレイル（健康な状態と要介護状態の中間に位置する虚弱な状態）予防と認知症予防の基礎知識や予防体操などが行われました。

後藤真知子女性部長は「今後も女性の輪を大切にしたい仲間づくりに取り組んでいきたい」と抱負を話していました。



↑開会挨拶をする  
後藤真知子女性部長  
↑祝辞を述べる  
原山寅雄組合長  
←家の光記事活用優良  
高森支部表彰の様子  
←ちゃぐりん  
感想文の表彰者



→「組織活動体験」  
発表をする蘇陽支部  
↓フレイル予防は先ず  
体を動かすことから！



↑会場を彩った  
阿蘇の花々と豊かな  
農産物のオブジェ  
↓和やかで笑いに  
包まれた  
会場の様子





各支部活動の様子を紹介するパネル

阿蘇町支部



小国郷支部



一の宮支部



南阿蘇支部



高森支部



蘇陽支部



西原支部





# マネー・ローンダリング、 テロ資金供与及び金融犯罪対策強化に向けた 取り組みについて

阿蘇農業協同組合 代表理事組合長 原山 寅雄

近年、フィッシング詐欺等の金融犯罪が増加し、詐欺被害防止に取り組んでいるものの犯罪の手口は巧妙化・多様化しており、特殊詐欺等による被害は拡大し社会問題化しております。

当組合は、組合員・利用者の皆さまの大切な財産を金融犯罪からお守りする為、マネー・ローンダリング・テロ資金供与対策（以下、マネロン対策）や反社会的勢力等との取り引き排除を経営戦略における重要な課題の一つとして位置付け、政府指針や関係法令等を遵守して取り組みます。

口座開設審査等、適切な取り引き時確認実施による取り引きモニタリングを強化し、継続的顧客管理の定着に努め、リスク評価に基づいた措置を講じるとともにモニタリングで判明した疑わしい取り引きについては、速やかに届出を行い、状況等をリスク管理強化に活用します。

また、実効性のある管理態勢を確立する為に、役員は主体的・積極的にマネロン対策に関与し、適切な措置を適時に実施できるよう対応の高度化を図ります。

新たに金融犯罪対策リーダーを設置し、専門性や経験を踏まえた経営レベルでの人員確保や役職員に対して、役割に応じた適切・継続的な研修・教育を行い、組合全体でマネロン対策や金融犯罪強化にかかる専門性・適合性の維持・向上に努め、組合員・利用者の皆さまに安心してご利用いただけるよう取り組んでまいります。





ご協力が必要です!

# 金融犯罪の減らし方

## JAバンクの取り組み

その

1



犯罪者による口座の不正利用やお客さまの詐欺被害を防止するため、日々お客さまの取引状況をモニタリングしています。不審な取引を検知した場合は、被害拡大防止のため、取引に制限をかける、お電話等でご事情を伺うなどの対応を実施しています。

### 取引のモニタリング

### 警察との連携

巧妙化する特殊詐欺等からお客さまの大切な資産をお守りするため、警察との連携を強化しています。捜査への協力や各種の情報提供に加え、被害を未然に防ぐための注意喚起や啓発活動等にも積極的に取り組んでいます。

その

2



## 金融犯罪を減らすためにご利用のお客さまにお願いしたいこと

### 窓口での確認手続

JAバンクでは、口座開設の際などに法令に基づくご本人さまの確認を行っております。また、盗難通帳や偽造印鑑による不正な払戻し、口座の不正利用を防ぐため、貯金の払戻し時などに改めて確認書類のご提示をお願いしたり、ご利用目的をお伺いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。



### 郵送書類等による確認手続

JAバンクでは、お客さまの口座が第三者に不正利用されることを防ぎ、安心してお取引いただくために、定期的にハガキや封書を送付してお取引目的等のご確認をさせていただいております。ご理解とご協力をお願いいたします。なお、お客さまの情報を確認させていただくにあたり、対面でお客さまのキャッシュカードをお預かりすることや暗証番号をお聞きすること、郵送やメールからのご案内を通じてウェブサイトへ誘導し、ネットバンクのIDやパスワード、暗証番号の入力を求めることはございません。JAバンクをかたる上記のような依頼は、すべて詐欺ですのでご注意ください。

### すぐにご相談を

相手がだれであるかわからず、電話やメールによる次のような内容は詐欺です。何かおかしいと思ったら、すぐにお取引店舗や最寄りの警察までご連絡ください。

「口座が停止されます」  
「未払い料金があり裁判になります」  
「暗証番号を教えてください」  
「キャッシュカードを回収します」  
「還付金があるのでATMで操作してください」  
「確実にもうかる投資話があります」

協力すれば、金融犯罪は減らせる。

JAバンクでは警察と連携し、金融犯罪撲滅に向けて取り組んでいます



## 「やっぱり、阿蘇のイチゴは違う、と 言ってもらえる品質を追求し続けたい！」

表紙の生産者  
園田賢臣さん



J A阿蘇いちご部会部会長を務め、恋みのりを112.8a栽培。

園田賢臣さん（阿蘇市）は、イチゴ栽培の他、米作りにも取り組む生産者です。

平成7年から農業に従事し、現在栽培しているイチゴの品種は「恋みのり」。丸みのある形と豊かな香りが特徴で、粒が大きく甘味と酸味のバランスが程よく、果肉に硬さがあるため輸送性にも優れています。

園田さんは部会長として、部会全体で生産量向上への取り組み、販売に関しては、販売促進活動や販路拡大、海外輸出にも尽力しています。

園田さんのイチゴ栽培への熱い想いとして「シーズンを通して、いつ手にとっていただいても「やっぱり阿蘇のイチゴは違う、と言ってもらえる品質を追求し続けたい」という信念があります。

また「激しい気象変動にも左右されないよう、蓄積されたデータと長年の経験による感性を融合させた栽培技術を確立させ、継承していきたい」と力強く語っています。さらに「部会として面積維持にも努め、これからの新規参入者にも魅力あるイチゴ作りを見せていきたい」と力強く結びました。



園田賢臣さん(右)ら収穫作業を行うスタッフの皆さん

## 送電線に風で飛んだ**農作業用ビニール**が接触し**停電**が発生します

- 風で飛ばないようにしっかりと固定してください
- 感電の危険性があります
- 電線に絡まったビニール等に近づかず、九電ハイテックにご連絡ください



【連絡先】  
株式会社九電ハイテック  
熊本支社送電グループ  
(電話 096-386-2259)



事故防止のお願い  
(YouTube)

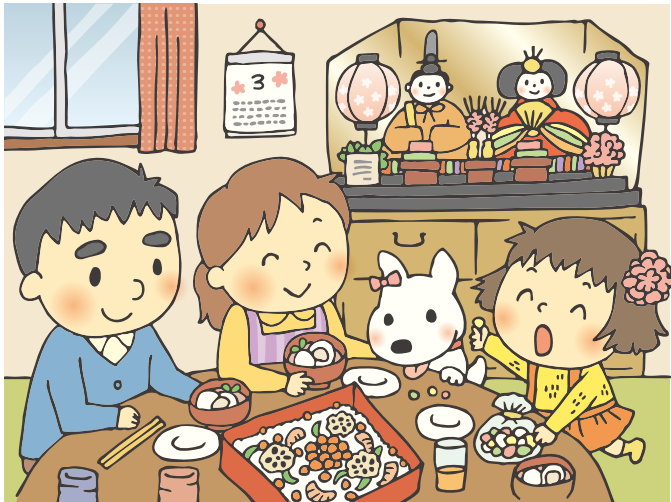
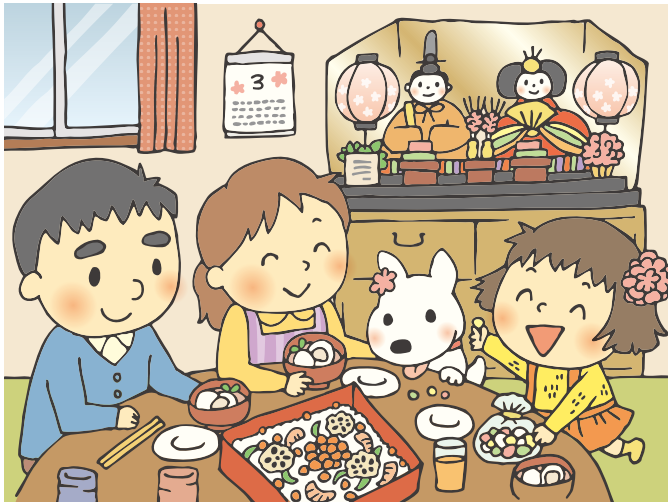




# JA阿蘇 イラスト違い探し「ひな祭り」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。

探してみてください! (出題:イラストレーター みやた みゆき)



## イラスト違い探し「ひな祭り」応募方法

上のイラスト 5 か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。

正解者の中から抽選で 5 名様に

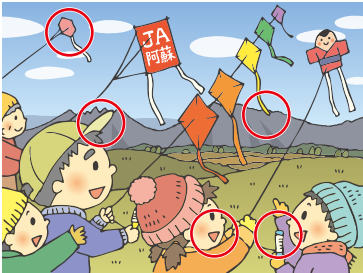
「イチゴ恋みのり 2 パックセット」(写真)をプレゼントします。

応募締め切りは令和 8 年 3 月 15 日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



## 前号「凧あげ」答えとプレゼント(あか牛サイコロステーキ)当選者 5 名様



上野 朋子 様 (阿蘇市)  
工藤 くに子 様 (阿蘇市)  
佐藤 チトミ 様 (阿蘇市)  
浦田 玲子 様 (熊本市)  
宇都宮美保子 様 (小国町)

＝ 答え ＝

- ① 左空の凧の形
- ② 男性の帽子のつば
- ③ 黄色の凧のしっぽの長さ
- ④ 女の子の口
- ⑤ 右の男の子の糸まき



ハガキ (表)

郵便番号 8692612

〒869-2612 阿蘇市一の宮町官地387-5  
JA阿蘇 総務部  
「JAあそだより」係

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望  
(内容によっては誌面で取り上げさせていただきます)

●その他



## 理事会・監事会報告

### ■令和7年度第11回理事会

日時: 令和7年12月19日午後3時00分

場所: 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 報告事項
  - 11月末実績について
  - 1) マネロンに係る取組み状況について(令和7年9月末)
  - 2) 令和7年度上期決算監事監査報告書について
  - 3) 令和7年度導入家畜等棚卸監査実施要領について
  - 4) 年末年始の業務等について(金融部・共済部・購買部・営農部)
  - 5) 仕事始めに伴う支所巡回並びに新春の年賀について
  - 6) 自主検査結果報告について(令和7年10月)
  - 7) 令和7年産米検査実績について
  - 8) その他
4. 閉会

### ■令和7年度第12回理事会

日時: 令和8年1月26日午後1時30分

場所: 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 

委員会報告(総務専門委員会)

12月末実績について

  - 1) 貸出金について(案)
  - 2) 役員推薦会議運営規程の改正について(案)
  - 3) 令和7年度上期決算監事監査回答書について(案)
  - 4) 役員候補者推薦内規の改正について(案)

報告事項

- 1) 地公体貸出について
- 2) マネロン・反社等への対応状況について(四半期報告)
- 3) 余裕金運用状況について(令和7年12月末)
- 4) 令和7年度(第4四半期) 余裕金運用方針について ↗

- 5) 県域ローンセンター媒介業務実績について(令和7年12月)
- 6) ATM利用実績について(令和7年12月)
- 7) 不祥事未然防止策内部監査実施状況報告について  
(令和7年10月～令和7年12月)
- 8) 内部監査の品質に関する内部評価報告書について
- 9) 令和7年度 農政連阿蘇総支部会費及び国際貿易協定対策  
募金実績について
- 10) 自主検査結果について(令和7年11月)
- 11) 令和7年度減損予定額について

4. 閉会

### ■令和7年度第10回監事会

日時: 令和8年1月26日午前10時30分～

場所: 本所2階第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
  - 1) 令和7年度導入家畜等棚卸監査実施手続きについて
  - 2) 令和7年度決算棚卸監査実施要領(案)について
  - 3) 令和7年度決算監事監査日程(案)について
  - 4) 令和8年度監事監査計画書(案)について

報告事項

- ① 常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ② 内部統制システム基本方針の体制整備・運用状況について
- ③ 内部監査の品質に関する内部評価報告書について
- ④ 不祥事未然防止策内部監査実施状況報告書について  
(令和7年10月～令和7年12月)
- ⑤ 行事予定について

4. 閉会



### ●●● JA阿蘇職員異動のお知らせ ●●●

▶ 令和8年1月1日新入組職員辞令

氏 名	辞 令
梅田 陽輝 (ウメダ ハルキ)	阿蘇南中央支所共済課共済係

▶ 令和8年1月1日辞令

氏 名	新 辞 令	旧 辞 令
山内 慶三	阿蘇町中央支所 J A 阿蘇車輛センター係	阿蘇町中央支所 J A 阿蘇車輛センター係 (高森駐在)







2011年8月3日 東日本大震災被災地  
浄土ヶ浜大橋から見下ろす港町など、岩手県宮古市で。



2020年9月6日 東日本大震災被災地 浄土ヶ浜大橋から、  
宮古市歌ヶ崎地区、岩手県宮古市で。


地震保障が復興の力になる。

平成23年3月11日 午後2時46分  
東日本大震災 M9.0(日本周辺における観測史上最大)  
最大震度7、津波最大高さ4.9m  
JA建物更生共済の  
共済金お支払い額: **9,376億円**  
お支払い件数: 68万4,686件 (JA共済連盟(公)令和3年11月30日現在)

建物更生共済なら  
**全契約**  
地震保障付き!  
もちろん台風も保障!

いつ起こるかわからないからこそ、  
今、“備え”を考えませんか？

ご自宅



家財・家具一式



農業に関連する施設



建物更生共済なら、様々な物件・用途でご加入いただけます。

アパート・マンション



店舗・事務所



倉庫



ご契約満了時には「満期共済金」をお受取り！メンテナンス塗装や建替のための積立機能も兼ねています！

【共済掛金例】建物更生共済 建物 住宅物件 火災共済金額1,500万円（地震による全壊時750万円）満期共済金額50万円					
協定共済償額1,500万円 実損てん補特約付 臨時費用共済金30% 保障期間30年（共済期間10年：継続回数2回）口座振替掛金 令和7年4月現在					
耐火A (鉄筋コンクリート造など)	月払 3,756円 年払 43,907円	耐火B・C (鉄骨造など)	月払 4,566円 年払 53,459円	木造・防火造 (木造など)	月払 6,981円 年払 81,725円
当初10年間の共済掛金は変わりません！					

※上記は一表です。ご加入いただける物件等の詳細はJA担当者までお問い合わせください。  
この冊子は便宜を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書（契約概要・任意契約特約）」  
および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

資料請求は  
こちら



お問合せは JA阿蘇 共済部  
TEL:0967-22-6120

# 信用手数料改定のお知らせ

## ◆ 改定日：2026年4月1日

2026年4月1日

単位：円

## 1. 振込手数料

項 目	自店振込	本支所間 (電信扱)	系 統 (電信扱)	他 行 (電信扱)	系 統 (文書扱)	他 行 (文書扱)
窓口利用	660	660	660	880	660	880
QR伝票	330	330	330	660		
定時自動送金	110	110	330	440		
個人IB振込	0	0	165	330		
法人IB振込	0	165	165	330		
自動 機 振 込	県内農協カード	165	165	220		
	県外農協カード	220	220	220		
	漁協カード	220	220	220		
	他行カード	440	440	440		
CD等振込		1件につき	165	165	330	550
	視覚障がい者 (窓口振込)	窓口利用	220	220	220	550

(注)

電子交換手数料880円 電子交換取立手形返戻料1,100円 電子交換不渡手形返却料1,100円 代金取立手数料1,210円 とします。  
送金・組戻等手数料については、1,100円とします。

給与振込は、自店・支所間については無料。その他については一律330円とします。

## 2. 口座振替手数料(契約に基づく取扱)

単位：円

項 目	法人IB等	CD等	窓口
口座振替	55	77	110

(注) 手数料の単価は、振替依頼データ件数(1件分)の単価とします。(手数料請求金額は、@×依頼データ件数)

## 3. 窓口収納手数料

単位：円

項 目	窓口収納
1件につき	110

## 4. 提携ATM手数料(引出・預入)

コンビニ ゆうちょ銀行 ATM	月曜～金曜 土曜 日曜・祝日	8:45～18:00 110円・それ以外の時間 220円 9:00～14:00 110円・それ以外の時間 220円 終日 220円
-----------------------	----------------------	-------------------------------------------------------------------------

## 5. 大口両替手数料(貯金払出を伴う両替含む) 単位：円

両替枚数	手数料金額
1枚～100枚	無 料
101枚～500枚	550
501枚～1,000枚	1,100
1,000枚を超える場合は、1,000枚毎に550円追加	

## 6. 硬貨入金手数料

単位：円

硬貨入金枚数	手数料金額
1枚～100枚	無 料
101枚～500枚	550
501枚～1,000枚	1,100
1,000枚を超える場合は、1,000枚毎に550円追加	

※ご入金・お振込み等を複数に分けてご依頼される場合など、実質的に同一のお取り扱いとなる場合は、合計の硬貨枚数に応じた手数料となります。

※同一日に複数回でご依頼される場合は、合計の硬貨枚数に応じた手数料となります。

※JA担当者が硬貨枚数を確認した後に、ご入金を取りやめる場合も手数料をいただきます。

※寄付金・募金・義援金口座へのご入金・お振込みは上 記手数料の対象外となります。

※事前に枚数・金額等をご確認の上、お持ちください。汚損硬貨についてはお断りする場合があります。

## 7. 窓口伝票処理件数に応じた手数料

窓口伝票処理件数	手数料金額	対象伝票
1件 ～3件	無 料	・入金伝票 ・出金伝票
4件～ 10件	550	・振込依頼書 ・振込依頼書 (連記式)
11件～ 20件	1,100	
20件を超える場合は 10件ごとに1,100円追加		

※QR伝票は対象外です

## 3. 紙媒体・電子(CD・DVD)媒体持込手数料(1枚あたり)

持込媒体	手数料金額	対象依頼書
紙媒体	3,300	口座振替手続依頼書
CD媒体	3,300	

## 9. その他手数料

単位：円

項 目	手数料金額	備 考
キャッシュカード発行	1,100	1枚の金額。
キャッシュカード再発行	1,650	1枚の金額。
JAカード一体型再発行(盗難紛失の場合)	1,650	1枚の金額。(JA窓口で1,100円徴収、別途三菱UFJニコスより550円徴収されます)
JAカード一体型・再発行(汚損破損の場合)	1,650	1枚の金額。
通帳・証書再発行	1,650	1通・1枚の金額。
残高証明書(個別発行)	550	1通の金額。
残高証明書(継続発行)	330	1通の金額。
残高証明書(規定外発行)	1,100	1通の金額。
法人IB月額手数料	1,100 もしくは3,300	振込・照会機能の場合は1,100円、 総合振込・給与振込・口座振替機能を追加する場合は3,300円
取引履歴検索(取引明細表等)	550	調査期間1年間。以後1年毎550円加算。(年数の端数は切り上げとします。)調査期間10年迄
未利用口座管理手数料(残高10,000円未満)	年間 1,320	2021年10月以降に新規開設される口座で、最終取引日から2年間以上未利用の口座を対象に未利用口座管理手数料を徴収。
相続時口座照会	5,060	

※災害時等は別途検討

ご理解とご協力をお願い申し上げます。

詳しくは各支所金融窓口へお問い合わせ下さい

